

天理消防署磯城分署が完成！

問

天理消防署 0743-62-3322

磯城分署 0744-33-2461

(旧磯城消防署)

- 建設までの経緯 -

築50年を迎える磯城消防署は、建物の劣化が進み大規模な改修を必要としていました。しかし、複雑・多様化する災害に加えて、南海トラフ巨大地震が危惧される中で、将来に向けて管内住民の皆様の安心安全を支える消防体制を維持するため、消防力の充実・強化が図れる施設と使いやすく維持管理に優れた庁舎を基本コンセプトに建設を実施いたしました。



この記事は3月10日に作成されたものです。

令和8年3月10日より、八尾地区にありましたが、磯城消防署は宮古地区に移転し運用を開始しております。

また、令和8年4月1日から、組合の一部署所再編に伴い、「磯城消防署」から「天理消防署磯城分署」となり、高度救助隊（左ページ参照）も配置されます。

消防行政は、地域の安全と安心を守るため重要な役割を果たしております。

新しい施設は最新の設備や機能を備え、皆様のご期待に応えることができるよう、職員一同、より一層の努力を重ねてまいります。

引き続き、地域住民の安全を第一に考え、迅速かつ的確な対応ができる消防体制の強化に努めてまいります。この新しい拠点が、消防活動のみならず、地域との連携を一層深める場所となることを心より願っております。

旧消防庁舎における業務および新庁舎の建設にあたっては、地域の皆さんの温かいご支援とご理解に感謝申し上げます。今後とも安全で安心な地域づくりに向けて共に歩んでいけることを切に願っております。

どうぞよろしく願いたします。



奈良県広域消防組合
磯城消防署
署長 山本 高弘さん

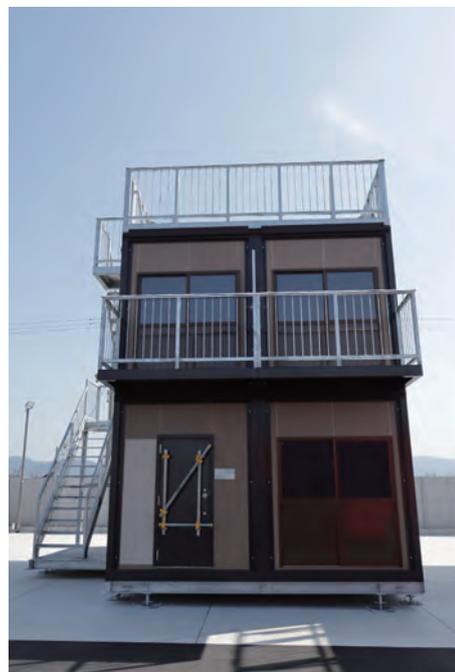
災害に備える消防署の取り組み



【配備車両】

- ・消防ポンプ車…1台
- ・水槽付き消防ポンプ車…1台
- ・高規格救急車…2台
- ・救助工作車…1台
- ・救助先行車…1台
- ・人員搬送車…1台
- ・防災パトロール車…1台
- ・資機材搬送車…1台

- ・機能拠点形成車(写真)…1台
大規模災害時に緊急消防援助隊の活動拠点(宿营地)を迅速に確保するための特殊車両。
- ・災害支援車…1台
大規模な災害が発生した際や、応援出動の際に、活動隊員の支援をするための車両



【訓練設備】

- ・消防訓練用模擬家屋…2棟

2階建て構造で、実際の住宅と同様の実践的な訓練を行うことができる設備。家屋は2棟あり、一戸建て住宅を想定したり、ハイツ(集合住宅)を想定した幅広い状況を想定した訓練に対応できます。

【高度救助隊】

火災や交通事故などの一般的な救助活動に加え、高度な知識・技術・専門資機材を用いて、通常の救助隊では対応が困難な現場や、より困難で特殊な災害に対応する専門性の高い救助部隊。

◆主な活動内容

- ・大規模災害(地震・土砂災害・水害など)での人命救助
- ・建物倒壊現場での検索・救出活動
- ・特殊災害(NBC災害※)への対応
- ・高所・地下・狭くゆとりがない空間での救助活動

※NBC災害:核・生物・化学による災害

◆特徴

- ・高度な救助技術
- ・専門的な装備・資機材を保有
- ・厳しい選抜や専門訓練を受けた隊員で構成

